

令和7年度 助産師実践能力向上研修実施要項

1. 事業目的

安心・安全な妊娠・出産環境を提供するためには、助産師の実践能力の向上が重要である。本県では、助産師に求められる専門的知識・技術を習得するための研修を開催し、助産実践能力の維持・向上を図る。

2. 研修目標

助産実践能力向上のために必要な専門的知識・技術について、講義及び演習をとおして習得する。

3. 実施主体

沖縄県

4. 実施機関

公益社団法人沖縄県看護協会

5. 研修テーマ

研修No.1 助産実践に必要なコア・コンピテンシー

研修No.2 共通基盤・マタニティケア能力

研修No.3 妊産婦に寄り添ったバースレビューの実践

研修No.4 妊娠各期における超音波診断の活用と実技演習

6. 受講対象

助産師

7. 受講定員

各研修プログラム参照

8. 受講料

無料

9. 研修プログラム

研修No.1 助産実践に必要なコア・コンピテンシー

研 修 目 標	助産師のコア・コンピテンシーについて理解する。
内 容	①助産師のコア・コンピテンシーの構成要素 倫理的感応力、マタニティケア能力、ウィメンズヘルスケア能力、専門的自律能力 ②助産師のためのコミュニケーションスキル
講 師	3時間：県外講師 井本寛子 日本看護協会常任理事 3時間：県内講師 大城洋子 かみや母と子のクリニック助産師長
研 修 日 程	8月29日（金）9：30～16：30
受 講 対 象	助産実践能力習熟段階（CLoCMiP）Ⅰ～Ⅳレベル 定員50人
研 修 評 価	研修後のアンケート調査 教育委員による「研修報告書及び評価表」

研修No.2 共通基盤・マタニティケア能力

研 修 目 標	<臨床病態生理> 1.臨床でよく経験する産科領域の病態生理について理解できる。 2.胎児、妊娠、分娩等への影響および管理ができる。 <母体の感染> 1.母体の感染の要因について 2.母体の感染が新生児に与えるリスクについて理解できる。 3.母体と胎児に安全な医療を提供できる知識と技術を理解できる。 <妊娠と糖尿病> 1.妊娠糖尿病（GDM）、妊娠中の明らかな糖尿病、並びに糖尿病（DM）合併妊婦の妊娠期・分娩期の管理と支援を理解できる。 2.妊娠糖尿病（GDM）既往妊婦の産後のフォローアップについて理解できる。 3.妊娠糖尿病（GDM）既往妊婦から出生した新生児のケアについて理解できる。
内 容	①臨床病態生理 ②母体の感染 ③妊娠と糖尿病
講 師	4.5 時間：県内講師（医師）3 名 1 コマ(臨床病態生理)⇒9：30～11：00 橋口幹夫 2 コマ(母体の感染)⇒11：10～12：40 小松泰生 3 コマ(妊娠と糖尿病)⇒13：40～15：10 大畑尚子
研 修 日 程	9 月 27 日（土）9:30～15:10
受 講 対 象	助産実践能力習熟段階（CLoCMiP）Ⅰ～Ⅳレベル 定員 50 人
研 修 評 価	研修後のアンケート調査 教育委員による「研修報告書及び評価表」

研修No.3 妊産婦に寄り添ったバースレビューの実践

研 修 目 標	1）出産体験が母親のメンタルヘルス及び育児に与える影響、助産師が行うバースレビューの意義が説明できる。 2）妊産婦の思いに寄り添ったバースレビューの実践、母親が出産体験の振り返りを通して、自己の出産に対して肯定感を築くための支援ができる。
内 容	【講義】①バースレビューを実践するための基本的な知識・技術（概論） ②バースレビューを実践する際の留意点、助産師として必要なコミュニケーション ③バースレビューの具体的な方法 ④事例に応じた関わり方の留意点（母体搬送例、母子分離事例含む） 【演習】ロールプレイ
講 師	6 時間：県外講師（助産師）1 名 ※演習支援者 狩俣由紀子(南部徳洲会病院)、五十嵐和美(沖縄赤十字病院)、當間紀子(沖縄県立看護大学別科助産)、大城あかね(友愛医療センター)、新垣冨紀子(名城病院)

研 修 時 間	9 月 13 日(土)9：30～16：30
受 講 対 象	助産実践能力習熟段階（CLoCMiP）Ⅰ～Ⅳレベル 定員 50 人
研 修 評 価	研修後のアンケート調査 教育委員による「研修報告書及び評価表」 研修後：バースレビューの実践件数 バースレビューを受けた母親への 1 か月後アンケート

研修No.4 妊娠各期における超音波診断の活用と実技演習

研 修 目 標	1) 助産師外来における産科超音波検査の活用方法を学ぶ。 2) コミュニケーションツールとしての産科超音波検査技術を学び、妊婦・家族への保健指導に役立てる。
内 容	【講義】産科超音波検査の基本・妊娠各期における正常胎児形態のチェック 【演習】超音波手技演習（画像抽出・産科計測・胎児計測）
講 師	6 時間：県内講師（医師）2 名 ※演習支援者 1 日：大城あかね(友愛医療センター)、楡田美香(琉球大学病院)、崎山久美(ハートライフ病院) 半日：狩俣由紀子(南部徳洲会病院)、新垣富紀子(名城病院)
研 修 時 間	10 月 26 日（日） 9：30～12：30(10 名)・13：30～16：30(10 名) ※半日各々10 名
受 講 対 象	産科施設で助産師が主体となった外来の開設を推進するリーダー助産師
研 修 評 価	研修後の課題：自施設で実施した妊婦の超音波検査の有無と実施件数 妊産婦の評価：助産師が行った超音波検査についてアンケート調査

※アドバンス助産師：CLoCMiPレベルⅢを認証された助産師